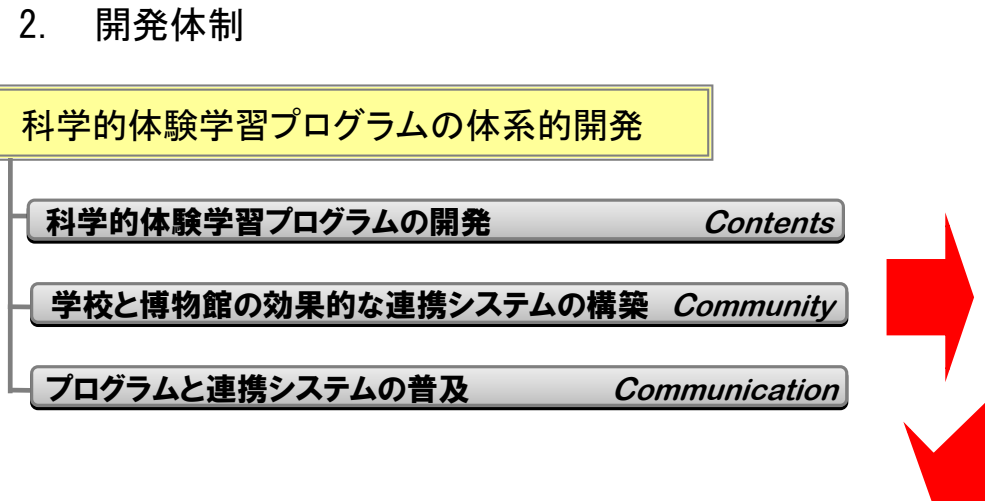


文部科学省委託事業「科学的体験学習プログラムの体系的開発に関する調査研究」
学習指導要領に対応した科学的体験学習プログラムの開発の概要

1. 背景

2006年OECD生徒の学習到達度調査(PISA2006)によると、日本は科学への興味・関心が低く、観察・実験等を重視した理科の授業を受けている生徒が少ない。

学習指導要領の改訂
 言語活動の充実
 思考力・判断力・表現力等の育成
 理数教育の充実
 体験活動の充実
 環境教育



3. 現状と課題の抽出

博物館との連携に関する小・中学校へのアンケート調査

- 博物館での体験や実物に触れることにより興味・関心・感性の育成を期待
- 中学校では出前授業や標本・デジタル教材の貸出し等の教室学習支援に期待
- 小学校では理系出身の理科主任は半数以下
- 小・中学校ともに「天文」「気象」「地学」分野、新しい学習指導要領に追加・充実された分野のニーズが高い

4. 主な成果

博物館の特長を活かした、理科の各単元に直結したプログラムを47本開発

海の環境調査
 火山をつくろう

開発した47本の科学的体験学習プログラムの一覧表

教科	単元	学習指導要領	開発年	開発校	開発者
理科	地層と化石	1. 地層の形成	2008	1	1
		2. 化石の発見	2008	1	1
		3. 化石の観察	2008	1	1
		4. 化石の復元	2008	1	1
理科	火山	1. 火山の形成	2008	1	1
		2. 火山の観察	2008	1	1
		3. 火山の復元	2008	1	1
		4. 火山の観察	2008	1	1

プログラムの概要

科学的体験学習プログラムの概要

学習指導要領との関連

プログラムのねらい

プログラムの内容

博物館(動物園)の活用

学校での使いやすさを考慮し、開発プログラムを学習指導要領に対応させ体系化し、共通書式(プログラム概要・学習活動案)により記載

5. 今後の展開

- 総合的な学習の時間や環境学習などに対応した探究型、活用型のプログラムの開発
- プログラムの開発・改善の継続
- 他機関との連携強化
- 普及のための情報の発信・共有・反映のシステム構築
- 学校と博物館をつなぐ人材(リエゾン)の育成とその拠点機能の充実



連携促進と成果の普及「授業に役立つ博物館を語る会」

ポータルサイト「授業に役立つ博物館」

教員のための博物館の日2008

調査研究中間報告会

学校と博物館をつなぐ人材(リエゾン)

科学的体験活動の充実